

〔前期〕2016年

7/31 [日]

9/25 [日]

EXHIBITION OF NANBU TEKKI



会場／もりおか歴史文化館2階—企画展示室—

観覧料／一般300円、高校生200円、小中学生100円、団体(20人以上)は各割引
開館時間／午前9時～午後7時(入場受付は午後6時30分まで)
* 11月は午前9時～午後6時(入場受付は午後5時30分まで)

〔後期〕2016年

9/29 [木]

11/3 [木・祝]

主催／もりおか歴史文化館 共催／盛岡市、盛岡市教育委員会 協力／南部鉄器協同組合
後援 盛岡商工会議所 中津川流域文化施設連盟「NACA」、岩手日報社、読売新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞盛岡支局、河北新報社盛岡支局、盛岡タイムズ社、岩手日日新聞社、デリーー東北新聞社、時事通信盛岡支局、共同通信盛岡支局、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、岩手ケーブルテレビジョン、ラヂオもりおか、マシエリ、情報紙ゆうゆう

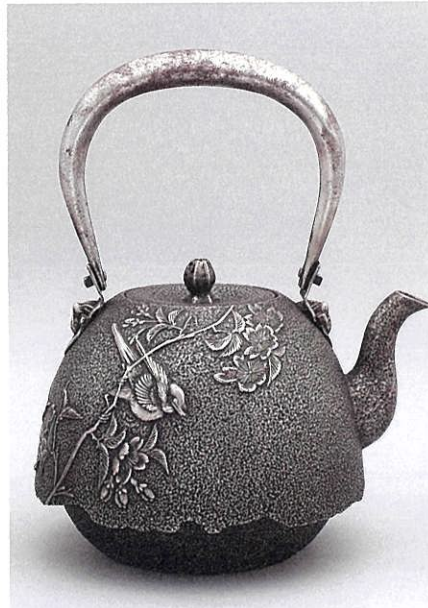
南部鉄器

—時代を超えた鉄くろがねの美—

* 会期中の休館日は、平成28年8月23日(火)、9月26日(月)、9月27日(火)、9月28日(水)、10月18日(火) [9月26日・28日は1Fのみ閉館]
* 盛岡市内在住で65歳以上の方、小・中学生のうち盛岡市在住・就学の方は無料 * 障がいをお持ちの方やその介護をされる方(障がい者1人につき1人まで)は無料
* 資料「葡萄牙に栗風文南部形鉄瓶」(個人蔵) 撮影：松本伸



1



3



4



2



5



6

1. 老松釜(小泉仁左衛門)
2. 古銭入責紐釜・古銭入鍍鉢風爐(鈴木盛久): 岩手県立美術館所蔵
3. 桜に鳥図鉄瓶(高橋萬治): 岩手県立博物館所蔵
4. 菊花散図鉄瓶(藤田孝保): 岩手県立博物館所蔵
5. 蠟型一馬灰皿(松橋宗明)
6. 鋳物師道具

南部鉄器

—時代を超えた鐵の美—

◎ 関連企画

① ギャラリートーク 「学芸員による企画展示資料解説」

日時/8月14(日)、10月9日(日) 各日13:30~14:00
参加費/展示室入場料が必要
定員/当日自由参加

② 南部鉄器青年展 「もりおか鉄ものがたり」

日時/10月1日(土)~10月9日(日) 9:00~19:00
会場/1階 町なか情報センター、祭り企画展示室など
観覧料/無料
主催/南部鉄器まつり事業実行委員会、盛岡市、
盛岡商工会議所、南部鉄器協同組合青年部
協力/南部鉄器協同組合

岩手県を代表する伝統工芸品であり、国内だけでなく国外からも注目されている「南部鉄器」。南部鉄器は盛岡市と奥州市水沢区で作られている鉄器の総称ですが、旧盛岡藩である盛岡と旧仙台藩である水沢とは、それぞれ異なる歴史を持ち、現在まで受け継がれています。

盛岡では、江戸時代に藩主南部家の庇護のもと、お抱えの釜師・鋳物師たちが中心となり鉄産業が発展していきます。その中でも「南部鉄瓶」は、江戸時代中期には誕生したとされ、茶釜と並び藩主の贈答品として用いられた記録が残されています。

本展では主に盛岡藩で発展を遂げた南部鉄器について取り上げ、江戸時代から続く歴史と伝統、受け継がれた技から生み出された「鐵の美」を、江戸時代から現代の作品を中心に紹介します。

激動の時代を乗り越えながら、現在も伝統の技術を守る職人たちが新たな美を追求しつづける「南部鉄器」を通じ、岩手・盛岡における鉄文化・工芸の魅力を感じていただければ幸いです。



〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号
TEL.019-681-2100
<https://www.morireki.jp/>

もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum